

函館地方裁判所委員会（第7回）及び函館家庭裁判所委員会（第8回）議事概要

（函館地方・家庭裁判所委員会事務局）

1 日時

平成18年12月1日（金）午後3時00分～午後5時00分

2 場所

函館地方・家庭裁判所5階大会議室

3 出席者（敬称略）

（関係機関）日本司法支援センター（法テラス）函館事務所長嶋田敬昌

（地裁委員）荒木和子，岡嶋一夫，今千尋，中山一郎，柵木澄子，吉岡勝政

（家裁委員）池田智恵美，岡田龍太郎，坂本紀子，高木元子，寺尾孝士，畑野克行，前田健三

（兼務委員）石井修治，高橋孝一，藤田信，矢村宏（委員長）

（地裁事務局）事務局長後藤隆博，刑事首席書記官大久保雅克，総務課長立花博之，会計課長末神克之，総務課庶務係長伊藤隆幸

（家裁事務局）事務局長小才度富健，総務課課長補佐三浦収

4 議題

（1）法テラスの業務概要及び運営の現状並びに今後の課題について

（2）裁判員法廷及びその関連施設をより利用しやすくするための方策について

5 机上配布資料

（1）着席図

（2）タイムテーブル

（3）パンフレット「裁判員制度出前講座メニュー」

（4）パンフレット「裁判所へ行ってみよう！」

（5）法テラス関連パンフレット一式

6 議事

（1）開会宣言（地裁総務課長）

（2）委員長あいさつ

（3）新委員から自己紹介

（4）裁判員制度広報に関する戦略的な取組みについての経過及び今度の取組みについての報告

（地裁庶務係長が報告した。）

質疑なし

（5）意見交換

「法テラスの業務概要及び運営の現状並びに今後の課題について」

(日本司法支援センター函館事務所長が講演した。)

質疑なし

(6) 裁判員裁判用法廷及び裁判員候補者待機室並びに評議室の見学

(全委員が各施設を見学し、委員長及び事務局員が適宜質疑に応じた。)

(7) 意見交換

(委員長) 完成したばかりの各施設を見学していただいたが、まず、率直な感想からお聞かせ願いたい。

(委員) 障害者の施設で働く者の視点から、法廷裏廊下のスロープは、傾斜も含めて非常に良いと思う。しかし、法廷裏の部屋から入廷するときに段差があった。これは車いすで入るときはつらい。あの程度の段差でも介護者が必要となるであろう。フラットな作りなら単独で入廷することができると思う。

(事務局) 意見があった旨、高裁に伝えることとしたい。

(委員) 入口にあれだけの段差をつけられたら、自力での入室は無理である。また、お年を召された方々はすり足で歩くことが多いが、あの段差では転んでしまう。他の部分がずうっとフラットなだけにかえて危険である。安心してしまふからである。今から修正できない場合は、実際に使うときに、段差があって危険であるということを前もってコメントすべきである。

(委員) 裁判員の席と証言席との距離に問題があるのではないか。裁判員からすると被告人と近すぎて怖いのではないか。法壇に座り、見られるのは仕方がないとしても、近すぎて威圧感を感じる。根に持たれたり、復讐されないかといった不安も覚える。証言席との間に磨りガラスといったものは設置できないものか。特に凶悪事件などではもっと配慮すべきではないか。

(委員長) 証言席については、前後に移動が可能であり、適宜、修正できる造りとなっている。

この他、備品でこのようなものがあつたら便利だと思うものはないか。

(委員) 新聞や週刊誌、雑誌などを待機室等に備えてはどうか。

(委員) 待機室や評議室にテレビやパソコンを設置し、インターネットを利用できるようにしてはどうか。長い時間拘束されるのだから、外部とのやり取りが可能になれば便利だと思う。

(8) 次回期日の告知

(委員長) 次回の裁判所委員会は地裁と家裁の合同開催を予定している。日時は6月8日(金)午後3時からで、場所は本日と同じ大会議室である。なお、日時が近くなったら、改めて書面にしてお知らせする。

(9) 次回委員会のテーマについての協議

(委員長) 委員会で取り上げるに相応しいテーマはないか。

(委員) 広報用のビデオを委員全員で視聴してはどうか。

(委員長) これまでと同様、テーマは随時受け付けているので、いつでも地裁総務課庶務係に連絡をいただきたい。なお、テーマについては事務局にも検討させることとする。

以上で、本日の予定はすべて終了した。熱心な御討議をいただき、委員の皆様

様の御協力を厚くお礼申し上げます。

(10) 閉会宣言(地裁総務課長)

以 上

函館地方裁判所委員会委員名簿

〔規則4条（以下同じ）1号委員〕（五十音順）

前函館市女性会議会長	荒 木 和 子
函館市町会連合会監事	岡 嶋 一 夫
特別養護老人ホーム松濤施設長	今 千 尋
北海道新聞函館支社報道部長	高 橋 孝 一（家裁委員兼務）
社団法人函館青年会議所直前理事長	中 山 一 郎
函館市教育委員会委員長	新 里 光 代
日本放送協会函館放送局放送部長	藤 田 信（家裁委員兼務）
函館司法書士会所属司法書士	吉 岡 勝 政

〔2号委員〕

函館弁護士会所属弁護士	森 越 清 彦
-------------	---------

〔3号委員〕

函館地方検察庁検察官	石 井 修 治（家裁委員兼務）
------------	-----------------

〔4号委員〕

函館地方裁判所長	矢 村 宏（家裁委員兼務）
函館地方裁判所裁判官	柵 木 澄 子

函館家庭裁判所委員会委員名簿

〔規則4条（以下同じ）1号委員〕（五十音順）

函館渡辺病院精神神経科医長	池田 智恵美
函館市市民部男女共同参画課長	川崎 伸子
北海道教育大学函館校助教授	坂本 紀子
函館調停協会副会長	高木 元子
北海道新聞函館支社報道部長	高橋 孝一（地裁委員兼務）
社会福祉法人侑愛会星が丘寮施設長	寺尾 孝士
函館市中学校長会研究部員	畑野 克行
日本放送協会函館放送局放送部長	藤田 信（地裁委員兼務）

〔2号委員〕

函館弁護士会所属弁護士	前田 健三
-------------	-------

〔3号委員〕

函館地方検察庁検察官	石井 修治（地裁委員兼務）
------------	---------------

〔4号委員〕

函館家庭裁判所長	矢村 宏（地裁委員兼務）
函館家庭裁判所裁判官	岡田 龍太郎